

(別添)

[ホーム](#) > [インフォメーション](#) > [広報資料](#) > [統計Today 一覧](#) > 統計Today No.86

統計Today No.86

家計収支の動向を的確に把握するために
～家計調査の結果を関連統計と比較する際のポイント～

総務省統計局統計調査部消費統計課調査官 佐藤 朋彦
(共同執筆者)
同課審査発表係 廣田 恵美

概要

2014(平成26)年4月に消費税率が引き上げられて以降、消費とそれを支える所得の動きを示す統計が注目されており、特に家計調査の結果が取り上げられることが多い。この家計調査の結果を商業動態統計調査の「小売業販売額」及び毎月勤労統計調査の「現金給与総額」と比較する際には、以下の点に注意を払う必要がある。

1. 「小売業販売額」と比べてみる際は、家計調査の消費支出のうち「財」への支出との比較が最も適切
2. 「現金給与総額」と家計調査の「実収入」は概念や集計単位が異なり、単純に比較はできない
3. 家計調査の「世帯主の勤め先収入」等を見る際には高齢化の影響を把握すること

はじめに

2014(平成26)年4月に、消費税率5%から8%へ引き上げられました。これに伴い、家計調査の結果でも引上げ前の3月には駆け込み購入、引上げ後の4月以降はその反動による買い控えが見られるなど、家計消費の動きに大きな変動が表れています。

しかし、4月以降の家計消費の動きに対して、家計調査の結果は他の販売側の統計に比べて弱く、また、その要因として家計調査の勤労者世帯の実収入が毎月勤労統計調査の結果に比べて低く、下方バイアスがある可能性が指摘されています。

そこで、家計調査の結果を指摘されている関連統計と比較する際のポイントについて、整理してみることしましょう。

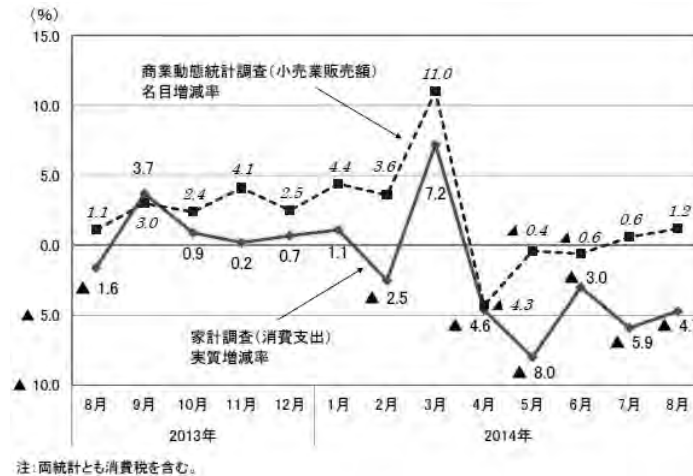
販売側統計との比較のポイント

(1) 実質と名目の違い ～小売業販売額の前年同月比は名目値～

家計調査の二人以上の世帯における消費支出(以下「家計の消費支出」という。)の前年同月比については、名目と実質の2つの増減率を公表しています。このうち、報道などでは物価変動を除いた実質増減率が通常、使われています。一方、商業動態統計調査(経済産業省所管)の小売業販売額(以下「小売販売額」という。)の前年同月比は、名目値のみが公表されており、この両統計の結果を単純に比較すると、4月以降、その差が大きくなっていきます。これは、消費税率の引上げ分を含む消費者物価※1の上昇幅が3月は2.0%でしたが、4月は4.1%に拡大したことによるものです。(図1-1)

※1 持家の帰属家賃を除く総合

図1-1 家計調査結果と商業動態統計調査結果の比較(その1)
(対前年同月増減率)



(2) 調査対象の違い ~小売販売額は家計調査の「財」へ支出と比較するのが適切~

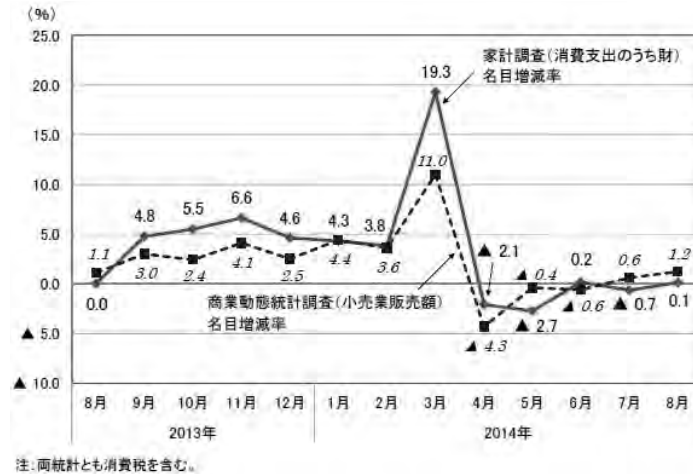
家計の消費支出には、贈与金や仕送り金といった移転支出が含まれています。これらの中には高額な支出が含まれることがあり、1世帯当たり1か月の平均支出金額を大きく動かす場合があります。また、これらの移転支出を除いた消費支出には、耐久財や非耐久財(消耗品)などの「財」への支出だけでなく、「サービス」への支出が含まれています。

一方、小売販売額※2には、家計の消費支出に含まれている住居(家賃など)、教養娯楽、教育、保健医療といったサービス関係の費目はほとんど含まれていません。

そこで、家計の消費支出のうち「財」への支出(名目)と小売販売額の動きを比較してみると、両統計の動きがかなり近づいており、世帯の「財」への支出は、直近の8月は1年前に比べて名目0.1%増とプラスになっています。(図1-2)

※2 2013年の小売販売額は138兆8970億円。なお、国民経済計算における2013暦年の「持ち家の帰属家賃を除く家計最終消費支出」は、238兆9477億円(2014年4-6月期2次速報値)

図1-2 家計調査結果と商業動態統計調査結果の比較(その2)
(対前年同月増減率)



(3) 内訳構成の比較 ~小売販売額には事業向け販売も含まれる~

さらに、同様の「財」であっても、両統計の内訳構成には違いがあります。例えば、小売販売額のうち「燃料小売業」の販売額割合は約10%です。一方、世帯の消費支出のうち「燃料小売業」が販売している品目に該当する「ガソリン」、「プロパンガス」、灯油などの「他の光熱」の合計金額の割合は約7%で、両統計の内訳構成比に違いがあります。(表1)

これは、例えば「燃料小売業」であるガソリンスタンドでは、世帯の自家用車だけでなく、事業所のトラックなどに対してもガソリンや軽油を販売していることによるものと考えられます。

表1 小売販売額と消費支出金額(財)の内訳構成の比較<2013年>